

カヤツリグサ (蚊帳吊り草)

名前の意味：子供が茎を割いて、蚊帳の形にして遊んだので。

分類：単子葉類、カヤツリグサ科、カヤツリグサ属

(カヤツリグサ科の栽培植物：パピルス)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑の縁

分布：本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：根元から数本斜めに立ち上がる茎、花火のような穂

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：退化してない

花の時期：7—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：コゴメガヤツリとは、穂に赤い色が入ることと、その先が尖ることで区別できる。

見つけやすさ ★★★

見分けやすさ ★★★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)